

同窓会報

NO. 42
1996.2

発行——山形県米沢市門東町1丁目1番72号 九里学園同窓会事務局 TEL 0238—22—0091



同窓会主催 記念音楽会「錦織 健・塩田美奈子デュオ・リサイタル」 1995.9.13

同窓会の総会に参加させて頂いて感心することは、多くの方々がそれぞれの地元にしっかりと根を下ろし、たくましく活動なさっているということです。

現役の生徒達も、インターハイや全国高校女子駅伝に参加した陸上競技部をはじめ、卓球部、書道部が全国大会に駒を進め、県大会ではほとんどの体育クラブの他に演劇部や吹奏楽部などの文化クラブも活躍してくれました。その陰には、同窓生や企業など多くの方々からご支援を頂いた部活動後援会の発足もあったのではないかと思っています。

また、今年度から夏服が新しくなり、夏服・冬服共に森英恵さんデザインの素敵な制服になりました。教育課程も完全五日制に移行し、土曜日は他の曜日とは全く別のメニューによる各種の講座を実施しています。今年度は、進路講座、お菓子や浴衣作り、ボランティア活動、水泳、フラワーアレンジメントなど大変バラエティーに富んだ二十五の講座で実施しました。

同窓生の皆様方も、新しい時代に向かって歩み続ける学園をよろしくご支援下さいようお願い致します。

学園近況

教諭 白岩正隆

30回目の記念音楽会

(H5年卒)

梅津由里絵

今年の記念音楽会は、コーヒーのCM

気がしました。

でお馴染みの錦織健さん、塩田美奈子さんによるデュオ・リサイタルでした。私は、職場(米沢信用金庫)の先輩に誘われて卒業以来初めて母校の音楽会に行きました。生でオペラ歌手の声を聞く機会があまりなかった私にとって、その日は楽しいひとときになりました。

はじめはお二人の朗々とした張りのある歌に圧倒されてしましましたが、次第にその迫力に心が奪われました。特に塩田さんの恋の歌「宵待草」などは、熱い思いが込み上げてくるを感じました。曲に込められた喜び、悲しみ、あらゆる感情がステージ全体から感じられ、人の声はやつぱりいいなと思いました。

「こうもり」でスカウトされた理事長先生の侯爵様は、そのとまどいが小さな笑いを生み、塩田さんのリードでファイナーレ、なかなかの好演でした。間合いの二人の会話も温かな人柄が感じられました。二人はちょうど「椿姫」の公演中だそうで、息の合つた「ああ、そは彼の人が」の掛け合いは絶品だったと思います。

心を動かす歌には、歌う人の人生が込められているように思います。お話を聞いて、なぜ人に感動を与える歌が歌えるかが少し分かったような



総会報告

1995.6.28

翌日は、生徒さんのステージだつたようですが、「健さん!」という声援があつたと聞きました。若い感覚にも共鳴するものがあつたのでしょうか。クラシックであつても、あれだけの音量と迫力を出せる人はやはりカッコいいものです。

今年で記念音楽会は、三十回を迎えたそうです。ここまでたどり着くには、役員の方々の大変な努力があつたことと思います。創立百周年に向けてますます同窓会の活動が活発になるよう広く呼びかけ、私もお手伝いしていきたいと思っています。

平成七年度の同窓会総会を、六月五日、ホテルサンルートで、百九十六名の参加をもつて開催することが出来ました。当番は、八と九のつく学年です。総会は、二十八年。懇親会は三十八年卒のさくら会がひきうけることになりました。総会では音楽会に錦織健さんの出演の決定と、正確な卒業生名簿の作成についての完成までの細かなスケジュールの説明があり、承認されました。

懇親会では、暗い世相を忘れて楽しく笑つていただこうと話し合い、アトラクションに、着物に半纏姿の金さん銀さんが登場、大爆笑になりました。百円ゲームもあり、新聞紙折ゲームありで、あつという間に時間になり、校歌を歌つて、クラマックスの終了になりました。沢山の方々から「本当に楽しかった」といわれ、緊張していた司会者初め、関係者はホッと心なごみました。満足感の余波をかって、「次回、どうしよう」と早くも気になり始めているところです。

金さん銀さんの笑トーク

桜井多紀子(H38年卒)





山形県高等学校駅伝

後輩、師走の都大路を走る

米沢女子高の内谷幸子選手が輝きながら笑顔でゴールテープを切った。この日は十月二十九日(日)全国高校駅伝大会出場を決める県予選大会でした。三年間勝てなかつた山形城北女子高を押さえての勝利。うれしかつた、長かつた冬から一気に緑の芽がふく春が来た思いでした。四年ぶり二度目の全国大会出場。十一月に万全な試走も終えて本番まで強化と調整に自信を持つて十二月二十四日の本番を迎えるました。スタートである競技場はスタンドを全てうめつくす幟旗と太鼓の音、太く低い応援団員達の声。すさまじい雰囲気の中で一区玉虫をはじめとする五人が一本のタスキに夢と心をこめて走りました。結果は四十位と振いませんでしたが、悔いはありませんでした。来年もここで走るという心をしつかり残すことが出来たからです。沢山の応援ありがとうございました。

(S60年卒 顧問 小形貴美子)



毎年、全日本へ 卓球部

特に国体では平成元年春より県大会のベスト4の常連となり、インターハイや国体、全日本選手権に毎年出場しております。

卓球部は平成元年春より県大会のベスト4の常連となり、インターハイや国体、全日本選手権に毎年出場しております。

特に国体では平成四年の「べにばな国体」次年度の香川国体では、第五位に入賞することができました。本年度は、現三年生が県新人大会の団体戦で優勝したり四年連続で全日本選手権へ出場する等、後輩達も頑張っております。同窓生の皆様、どうかご支援下さい。

(顧問 大滝 勤)

全日本で活躍する
二年 嶋貫有希子(写真右)

応援下さい

北島美紀さんは

(日本ケミコン)

同窓生(平成二年卒)です

北島さんは現在、日本ケミコン株式会社陸上競技部の主将として活躍されています。北島さんの走る勇姿は、皆さんテレビや新聞でご存知の方が多いと思いますが、北島さんが、陸上競技(中長距離)を始めたのは本校に入学してからでした。高校時代は三年生の時に高知インターハイに三千Mで出場するなど、県内の高校生では常にトップの成績を残す選手でした。現在は入社六年目に入り、今は日本のトップランナーとして成長し活躍されています。



ゼツケン72番です

上山温泉「有馬館」

(S 26年卒)

おかみ 須 藤 富 乃 さん を 訪 め て



十二月十八日、編集部三名は、上山温泉の「有馬館」の女将・須藤富乃さんを訪ねました。玄関を入つてすぐのギャラリーには館名にちなんでか珍しい馬のコレクションがあり、目をひきました。

間もなく和服姿の女将さんが見えられ、お話を伺いました。

富乃さんは、十九歳でご結婚されたそうです。御主人様は学校の先生をしておられ、ずっと別々のお仕事だったということです。当時有馬館は、湯の権利を持つておられ、人に貸しておられたのです。二十六歳の時、富及さんは有馬館をやるという一大決心をされ、宿を建て直し、一から出発されたのだそうです。お嬢様で育ち、お年を召した今もおつとりと物静かでいらっしゃいますが、どこにそのファイトが潜んでいたのかと思うほどです。

毎朝六時には和服に身を整え、

同窓生作品展 1995.9.3

押し花絵を楽しむ

岩 見 節 子 (S 39年卒)

同窓生として作品の展示を依頼されたのは、たしか同窓会反省会の折だったと思します。初めての参加ですし、ちょっと不安もありますが、文化刺しゅう、リボンフラワー、木目込人形、生け花、その他皮細工、ハーブの展示、飯豊支部の人達の鏡付小物入れ、そして、九里学園長の書と彩りをそえ、すばらしい作品展示になりました。イベントとしてその一角にコーナーを設け、押し花絵を作つて楽しんで頂きました。見に

分出来ないことがいつも気にかかるのです。学校の諸行事に行つてやれずつらかったことを、実家のお父様に嘆いた時、「働く姿は鑑」と励まされたそうです。お客様に喜んで頂けるあたたかい旅館を拡大されました。上山でははじめて四階にフロアをつくるなど、創意をつくした全力投球の時代、その四階の窓からは

(S 24卒 行方キヌヨ記)
いつも上山駅が見えました。「あの列車は実家(赤湯)に向かっている」と思うと涙があふれたそうです。
九里学校時代は、教科書も充分なく、中勤労奉仕や学校の農園の手伝いなどが中心でした。その頃丹野先生がいわれたことで、忘れられない言葉があります。「女性は風呂敷になれ。いらないときは畳んで仕舞い、何かあつたときは広げて包み、懐を深くしなさい」との譬話です。今までも時々思い出して若者を助け、従業員を包んでおられた由。含蓄あるお話を大きく領きました。



来られた人達は小学生からお年寄りまで、お母さんお父さんも楽しいおしゃべりをしながら、「しおり」や「はがき」の押し花絵作りを楽しみました。思い思いの作品を手に満足な表情でした。
それにしても、生徒さん達の卒業生を接待する態度に好感を覚えました。校内の清潔さ、古い校舎でありながら、みがかれた床、何年かぶりで見る校舎がとても美しく、誇りに思いました。同窓生の九里祭参加がいつまでも続きます様期待しております。

「**ワиф**を語る



本日休診

師走も半ばになつてから、妻が右足の小指に「できもの」がして痛いから医者に処置してもらおう、ということなので「はいきた！」と軽い気持ちで車を出して沢の皮膚科に出かけた。途中まで来ると「まさか今日は休みではないだろうね」と不穏なことを言い出した。私は「日曜日であるまいし……」と軽く聞き流して雪道の運転に集中した。途中で二、三度道に迷い、四十分

長

岡

實



長岡ツネ 御夫婦
(S 20年卒)

程して医院に辿り着いた。車は一台もない。しめしめ、すいてる時間帯だぞと二人で喜んだのも束の間で、玄関まで行くと、妻が一瞬不安に感じたとおり「本日休診」の文字がいやという程大きく見えた。

しかたがないから赤湯の皮膚科に行くことになった。わざわざ遠まわりして行ったのにやつぱり休診だった。折角出かけ来たのにどちらも休診とは甚だ面白くない。「その辺でうまい昼食でもとつてから。」

私が、児童文学の道を歩み出してから、早三十年近くになる。そのきっかけは、私が後に生涯の師と仰ぐようになつた須藤克三先生との出合いである。先生は

書くには、作者自身が信念を持つて生きなければいけないと思う。作品は、夏休みや冬休みのおさらい帳に掲載され、学校を通して県内の子どもたちに直接手渡

高坂さんは、「山形童話の会同人」として三十年来児童のお話を書いておられます。作品は小学生のおさらい帳によく掲載されています。代表作に、「ゆきむかえ」「赤いてぶくろ」などがあります。

私と児童文学

高坂かの子
(S 23年卒)

されるので、現場の先生方のきびしい網をくぐることになる。

私は、米沢の自然や、京ことばにも似た方言の美しさは、土地の文化であると考え、吾妻連峰とか、松川とか、実名を使っている。文中の会話も、できるだけ方言で語らせるようにしている。

近頃、私をここまで児童文学に打ちこませる遠因となつてているものは何だろう

と考えことがある。それは、私達が戦

中、戦後と、あの時代に少女期をすごし

たことへのいとおしさと、そんな時にも、強く明るく生きた友人に恵まれたことが、現在の私を育ててくれたのではないかと思ふ。

年と共に、米沢の母校正

面のあの美しいロマンあふれる校舎に、たまらない郷愁をおぼえる今日この頃である。

今年五月、十年ぶりに新しい「同窓会員名簿」が出来ます。その完成にむけて只今、事務局では大詰めの作業で大忙しの毎日です。

現在、名簿の発行部数に若干の余裕が出来ましたので購入希望者をつのつてい

ます。あなたの手元に一冊どうでしょうか。一部三、六〇〇円です。

また、商店、会社の方々広告のページも若干余裕がありますのでお忘れの方、

大至急(二月末まで)事務局まで申し込み下さい。

追加申込受付け中

「同窓会員名簿」五月に発行

夕ラス会

我教室のぬくもりに
触れる

昭和42年卒 六組

遠藤和子



昭和21年卒 は組

竹俣幸子



山崎時夫先生の死を悼む

神原省治

「巨星逝く」四月、山崎先生の訃報をお聞きして、第一に頭を過ったのはこの

想いでした。先生は昭和二十四年より三十余年を高校、続いて幼稚園で指導・経営両面で手腕をふるわれ、今日の礎を築かれました。

特に後半は、管理職として、今日を見据え施設設備の充実、地域社会への浸透等に心を碎かれました。

一方、授業では独特な言葉遣いとユニークな筆致で忘れがたい印象を与え、人間味あふれるお人柄を今も多くの卒業生が敬慕しております。心よりご冥福をお祈りいたします。



それは、帰郷する

友人の一報からはじまった

東京に住んでいる友人が、久しぶりに米沢へ帰つてくる

という一報が私に届きました。

それからあわてて名簿をたよ

りに電話し、急遽ミニ同級会

をしようということになり、

十一月二日小野川一泊となり

ました。当日は、十二名の参

加でした。心は高校生にもど

り、それはそれにぎやかな

会でした。

卒業から二十八年あまり、笑

いありの年月が一度に

噴き出る感じでした。

あの素直だった?高校

時代に戻れるこんな

楽しい会であるなら、

また再会しようということ

になりました。顔のシワが増えて、髪

が白くなつてもです。

持ち変えてもノートはありませんでした。ワラ判紙をリボンで綴つた卒業記念のサイン帳は、今でも大切にしています。

こんな高校時代でしたが、私達は九里学園の生徒であることにみんな誇りを持っています。

戦争は二度とおきてはいけません。

六月三日、クラス会の当日、私達は懐かしい母校を集合場所にしました。校舎を見学させていただき、当時の私達の教室だつたところで写真を撮りました。ハンダ付けした室や、暖房用の木が積まれていた中庭も、その面影を残していました。担任の先生の出征を涙ながらに南駅まで見送った事が走馬灯の様に想起され、感無量でした。

終戦でハンダごてから鉛筆に

れんらく板



編集後記

今回から二人の新しい編集委員が加わることになりました。なるべく多くの同窓生の方々に同窓会の様子を伝えたいと願い編集しています。御意見、御感想をお寄せ下さい。

会報は8年に1回の配布になっておりますが、毎回の購読希望者をつのっています。どうかお申し込み下さい。

- 今年の卒業生、三一四名が四月あらたに同窓会員として入会いたします。皆様どうか御支援下さい。
- 今年の卒業生、三一四名が四月あらたに同窓会員として入会いたします。皆様どうか御支援下さい。
- 名簿の発行で、同窓生の総人数がはつきりました。昨年の卒業生までで二四、四一三三三二)までお願いいたします。
- 関東支部総会は、六月十五日(土)上野「精養軒」です。問い合わせ他、詳細は、占部ゑい様(TEL ○三一三四四四一四八名です。
- 平成八年度の同窓会総会は、六月三十日(日)です。当番学年は、○と一のつく学年です。どうか皆様御参加下さい。